

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」 ソフトボール競技実施要領

1 競技規則

令和5（2023）年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム

- (1) チームの構成は、監督1名、コーチ2名以内及び登録選手15名以内（男女は問わない）とする。
- (2) 監督及びコーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手人数は、選手を兼ねる監督及びコーチを含め15名以内とする。

3 競技方法

- (1) 全ての試合は5回までとし、トーナメント方式で行い、3位決定戦を実施する。また、トーナメント戦以外に交流戦を実施する。
- (2) 1回戦及び準決勝は、試合開始後60分を経過した後は、新しいイニングに入らない。
- (3) 同点の場合は、タイブレークにより試合を延長して行う。ただし、延長は2回を限度とし、それでも同点の場合は、最終出場選手（DP制を採用した場合はFP選手を除く。）9名の抽選によって勝敗を決する。ただし、決勝戦の延長は勝敗が決するまで行う。
- (4) 3回終了以降10点以上の差が生じたときは、得点差コールドゲームとする。また、降雨等の事情により試合の継続が不可能と判断された場合は、3回以上の回の終了をもってコールドゲームとする。（決勝戦、3位決定戦を含む。）
- (5) ファーストピッチにより行う。
- (6) 投球距離は、13.11mとする。
- (7) パスボール、振り逃げ、スクイズバントは適用しない。
- (8) 盗塁が行われた時、該当する走者はアウトとする。
 - ア ピッチャーが投球したボールが、ホームベースを通過した時点でボールデッドとし、盗塁、キャッチャーからの牽制、暴投による進塁など、その後のプレーは成立しない。
 - イ ランナーが帰塁を故意に遅らせた場合は、審判団から厳重に注意をし、再度繰り返す場合は、審判団の判断で遅延行為によりランナーをアウトとする。
- (9) 指名選手（DP）制、再出場（リエントリー）制を採用する。

4 服装等

- (1) 同一チームの監督、コーチ及び選手は、同色・同意匠のユニフォームを着用しなければならない。また、男子は同じ帽子を着用しなければならない。
- (2) ユニフォームナンバーは、背中と胸下に付けなければならない。監督は30番、コーチは31・32番、主将は10番とし、他の選手は1番から99番ま

での番号とする。また、ユニフォームの左袖（左肩から10cm程度）に都道府県・指定都市名を表示すること。

(3) 打者，打者走者，走者，次打者席内にいる次打者及び1・3塁のベースコーチは，両耳あてのある同色のヘルメットを着用する。また，捕手は，スロートガード付きマスク・捕手用ヘルメット，ボディプロテクター及び膝当て付きレガースを着用する。

(4) 金属製のスパイクは禁止する。

5 試合球

試合球は公益財団法人日本ソフトボール協会検定ゴム製3号球とし，主催者が用意する。

6 組合せ

組合せは，令和5（2023）年7～8月に開催するプログラム編成会議において，主催者が関係者立会いの下に代理抽選の上，決定する。

7 打順表等

(1) 打順表は，試合開始時刻30分前までに5部作成し，各球場の競技本部へ提出する。ただし，第1試合は開始式終了後に提出すること。

なお，打順表は監督会議において競技本部から配布する。

(2) 攻守順の決定は，打順表提出の時に審判員立会いの下「コイントス」によって決定する。

8 開始式・表彰式

(1) 開始式は，競技開始前に競技会場で行う。

(2) 表彰式は，競技終了後に競技会場で行う。

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため，実施の有無及び実施方法を変更することがある。

9 その他

(1) 令和5（2023）年10月27日（金）に監督会議を行う。なお，監督会議の時間及び場所については別途通知する。

(2) ベンチは，組合せ表の番号が若いチームを1塁側とする。

(3) ベンチ内へは，監督，コーチ，選手以外は入場することができない。ただし，チームスタッフ3名とは別にトレーナー1名を帯同しているチームは，1名ベンチに入ることができる。なお，トレーナーは参加申込時に登録した者に限る。このトレーナーは，実際に施術ができる者とし，公認パラスポーツトレーナーの有資格者であることが望ましい。

(4) 練習場所については，主催者からの指示に従うものとする。

(5) 練習球は，各チームが用意する。

(6) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは，主催者において別途決定する。